



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和元年11月5日 第7号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



目は口ほどに

校長 小野満 賢

九州大学・人間環境学研究院学術協力研究員の小林洋美氏によると、霊長類の中でヒトだけが「白目」があるといえます。白目の部分は正確には「強膜（きょうまく）」というのですが、小林氏は92種類もの霊長類を調査し、すべてのサルは強膜はかなり濃い茶色をしていて、黒目も含めればサルたちの眼は全体的に黒い、ということ論文にまとめました。

さて、どうしてサルは強膜は白くないのでしょうか。虎ノ門大学病院教授の三谷宏治氏が著書の中で次のように言っています。『それは、より強い相手（捕食者・抗争相手）と遭遇したときに、強膜が白いと視線が相手に分かってしまうからです。視線によって相手は自分の次の行動が分かってしまいます。逃げようとしているのか、襲おうとしているのか、どこに逃げようとしているのか、どこを攻撃しようとしているのか……。視線が相手に分かってしまえば、自分にとって不利に働く場合が多いわけです。つまり、生き残るために、敵との戦いを有利にするために、相手に視線を読み取らせないように、すべてのサルは強膜は黒いのです。』

ではなぜヒトだけが、その強膜を白くしたのでしょうか。三谷氏は続けます。『ヒトはおおよそ200万年前、木を降り森を出て、サバンナで生きることを選択しました。でも地上に降りた「か弱いサル」であったヒトに、単独で敵（ライオンなど）と戦うという選択肢はありませんでした。ヒトの最大の武器は、頭脳を使った仲間との連携プレーでした。素早い情報交換のために、そのコミュニケーション能力を発達させてきました。そのひとつが「視線」であり「目の表情」だったわけです。』

つまりヒトはコミュニケーションをとるために、わざわざ強膜を白く進化させていったというのです。しかも、身の危険というリスクよりもコミュニケーションの価値を取ったということがなかなか興味深いところですね。

そんなわけで私たちは白目のおかげで、お互いに相手が見ているか見ていないか、はっきり分かります。その視線の向きや目力の強弱で興味や自信の有無までもが判断できてしまいます。「目は口ほどにものを言う」と言うように、言語の他に、それに引けを取らないコミュニケーションツールを進化によって手にしているわけです。

私には決して忘れることのできない苦い思い出があります。この仕事に就く前、私はある求人情報誌に関わる仕事をしていました。ある会社の社長と会う機会があり、先輩とともにその会社に出向きました。社長は一代でこの仕事を立ち上げたのですが、創業当時の苦労話や、今後欲しい人材のこと、そして趣味の家庭菜園にまで話が及びました。私はせっかくの機会だと思い、社長の話を一語一句聞き漏らすまいと、必死にメモを取りました。話が終わり、お礼を言って社長室を後にした途端、私は先輩にすごい勢いで叱られました。「お前の今日の態度は何だ。お前は話を聞いていなかった。」私はハッとしました。私はメモを取るのに夢中で社長と目を合わすことなく、スパイのように机の下でペンを走らせていたのです。会社への思いを熱く語る社長の、額のしわの奥にあったであろう強くて柔らかい眼差しを私は一切見ていなかったのです。「話は目で聞かなければ」と思った瞬間でした。

さて皆さんは、前に人が立って話をしているとき、その人の目を見て聞いているでしょうか。お家の人と大事な話をするとき、目を見て話しているでしょうか。

小中高連合運動会

「全力の素晴らしさ」

小中高運動会担当

天候にも恵まれ、予定通り全てのプログラムを行うことができました。今回体育科として生徒たちに求めたことは3つあります。

①「一生懸命応援すること」

中学生はもちろんのこと、小学生も高校生も、村の大人たちも、この日のためにたくさんの準備をし、それぞれ思いをもって臨む競技や演目を、きちんと見届け応援すること。当日生徒たちは生徒席から身を乗り出して競技を頑張る児童・生徒に「ガンバレ〜」と声をかけていました。これが小中高が連合で運動会を行う醍醐味だなと改めて感じました。

②「一生懸命走ること」

負けていても、逆にダントツで勝っていたとしても、競技には手を抜かず、全力で走り切りたい。そして、係の仕事にも、運動会が成功を収めるために、その責任を果たすために率先して走りたいということを生徒たちに伝えました。生徒たちの一生懸命な走り、必死な走り、係の仕事が終わってすぐに召集がかかって慌てた走り、中学生としての責任感を感じました。

③「片付けまでしっかりと」

中学生には、高校生とともに、運動会が終わってからすぐにテントや使った用具を片付ける役目があります。それが終わるまでは、事故や怪我を防ぐためにも気を抜くことなく頑張ろうと伝えました。連日の練習と、炎天下の中での本番で疲労もピークだったろうに、本当によく動いてくれました。その様子を見て、中学生としての逞しさを感じました。

そして校長からの生徒たちへの要求はただ一つ「全力」という言葉でした。

小中高校生、村の大人たち、運営側に回った教員、応援に駆けつけてくれた保護者や来賓の方々、全ての方が「全力」を出して作り上げた運動会でした。それはとても感動的で、清々しく、良いものでした。これからも、「全力」でやることの素晴らしさを生徒たちに伝えていきたい、と改めて感じた運動会でした。

「全力」の笑顔を残した3年生

その姿を目に焼き付け、来年をイメージできた2年生

たくさんの初めてを、手を抜かずやり抜いた1年生

どの学年にとっても、今後につながる運動会だったと確信しています。保健体育の普段の授業で積み重ねてきたことを、立派にやり遂げた中学生に、たくさんの感動をもらえた運動会でした。

最後になりますが、地域・保護者の皆様にはたくさんのご協力をいただきながら無事に終了し成功することができました。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



後期生徒会 各委員会のスローガンと委員会名簿

「新生徒会スタート」

生徒会担当

10月25日（金）5校時に生徒会総会が行われました。もともとは1校時に予定していましたが、前日が台風の接近により臨時休業になったため、予定を変更して行われました。その影響で例年と比べるとリハーサルを行って練習する時間が十分に確保できなかったのですが、限られた時間の中で練習し、熱意をもって生徒会総会に臨むことができました。

生徒会総会では、発表する生徒会役員や委員長だけではなく、発表を聞く生徒一人一人が真剣に各委員会の取組や計画に耳を傾けて、自分たちのこととして聞く姿勢が見られました。

後期からは生徒会の中心が2年生になります。新しい取組も計画され、新しい風が吹き始めました。よりよい学校生活が送れるよう、生徒一丸となって生徒会を運営して行ってほしいです。

委員会名	スローガン	意味
役員会	外柔内剛(がいじゅうないごう)	なじみやすく、和気あいあいとしているが、仕事に責任をもち、芯をもってがんばる。
1年学級委員会	笑顔がたえない優しいクラス	クラスの中から笑顔が絶えず、友だちに優しくする。
2年学級委員会	団結～仲の良いクラス～	クラスの一人一人が色をもって、クラスで一つの虹をつくる。
3年学級委員会	Memory ～チャレンジ&カバー～	卒業するまでにクラスでチャレンジとカバーをしあって最高の思い出をつくる。
生活委員会	唯一無二	安心安全で、過去最高に楽しい学校生活にしていく。
美化委員会	目指せ 掃除王！	美化委員を中心に、生徒一人一人が完璧に掃除ができるようにする。
保健委員会	バランスの良い食事で 免疫力UP！！	後期からは「食事」をテーマにして活動していく。
放送委員会	Enjoy&Challenge ～楽しく聞きやすい放送を～	楽しい放送をするとともに、新たなことにもチャレンジしていく。
図書委員会	楽しく気持ちよく多くの人に使ってもらえる図書室	役員会が掲げるスローガンの実現を目指し、図書委員会としてできることを行っていく。
体育委員会	全力アオハル今を生きる ～体育をアオハルの1ページに～	輝かしい汗を流すことに体育とアオハル（青春）の共通点がある。
福祉委員会	Euphoria ～幸せの種をまこう～	Euphoriaとは、幸せや幸福という意味。地域の人や生徒の役に立ち、幸せをまいていきたい。

	第1学年	第2学年	第3学年
役員会			
学級委員			
生活委員			
美化委員			
保健委員			
放送委員			
図書委員			
体育委員			
福祉委員			

◎委員長 ○副委員長 ◇書記

スマホトラブル講習会

「インターネットの安心安全な使い方」

生活指導主任

10月3日(木)に総務省から講師の方が来校され、図書室で、スマホトラブル講習会を行いました。スマートフォンやパソコンなどを通してインターネットを利用する上で、気を付けなければならないことを説明していただきました。使いすぎによる弊害や、被害者が些細なことで加害者になってしまう危険性など具体的な例を通じて学ぶことができました。危険性があるから使用しないではなく、その特徴を知った上で上手に利用していく姿勢が大切だということも伝えられていました。

現状小笠原中学校でも、生徒全体のインターネットにつながる端末の所持率が上がっています。こうした機会を捉えて、ご家庭でも、スマートフォンをはじめとして、インターネットの利用の仕方について話をしてもらえたら幸いです。



学校公開週間のお知らせ

2学期の学校公開を実施いたします。保護者・地域の皆様、ぜひご参観ください。

【日時】 11月5日(火)～8日(金) 午前8時(朝読書)～午後6時(部活動終了)

授業は、午前8時20分～午後0時10分・午後1時30分～3時20分

【備考】 上履き・保護者証をお持ちください。車での来校はご遠慮ください。

地域学校保健委員会講演会のお知らせ

心身ともに健康な児童・生徒の育成のため、地域学校保健委員会で講演会を実施いたします。今年度の内容は「食事について」です。保護者・地域の皆様、ぜひご参加ください。

【日時】 11月27日(水) 午後4時～5時(午後3時45分開場)

【場所】 小笠原中学校 図書室

【講師】 小笠原村診療所 栄養士

島しょ保健所小笠原出張所 栄養士

【テーマ】 「知って得する！小中高の発達段階に応じて必要な栄養と摂るためのヒント
～児童・生徒のお弁当、栄養士さんによる栄養計算で大解剖～」

【備考】 申し込み不要

11月の主な予定

3日(日) 文化の日 東京都教育の日 英語検定(二次)	16日(土) 台風の臨時休業に伴う振替授業
4日(月) 振替休日	18日(月) 学校朝礼
5日(火) 生徒会朝礼 学校公開(始) 自転車安全点検	20日(水) 期末考査1日目(国語、英語、保体)
6日(水) 安全指導 芝生の日	21日(木) 期末考査2日目(社会、数学、音楽)
7日(木) 食育講話 避難訓練	22日(金) 期末考査3日目(理科、技家、美術) 後期消防点検 部活動再登校
8日(金) 学校公開(終)	23日(土) 勤労感謝の日
9日(土) 数学検定	25日(月) 生徒会役員会 学級委員会
11日(月) 学校朝礼	27日(水) 中学校英語スピーキングテスト(3年) 地域学校保健委員会講演会
13日(水) 職員会議 部活動中止(21日まで) SC勤務日	28日(木) 合同委員会、各種委員会、中央委員会 SC勤務日
14日(木) 島しょ研修会(特別支援教育) SC勤務日 学校環境衛生検査 お弁当の日※15日(金)に変更します	